

## 令和6年度 アオコ情報（新川2）

8月14日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度<sup>※1</sup>は、新港橋でアオコレベル3相当、神天橋でアオコレベル2相当<sup>※2</sup>でした。
- アオコが発生している地点では、植物プランクトンであるミクロキスティスが見られました。

### 1 新川のアオコレベル

- 真鍋橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：14 µg/L）
- 城北橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：17 µg/L）
- 神天橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：697 µg/L）
- 新港橋でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：867 µg/L）

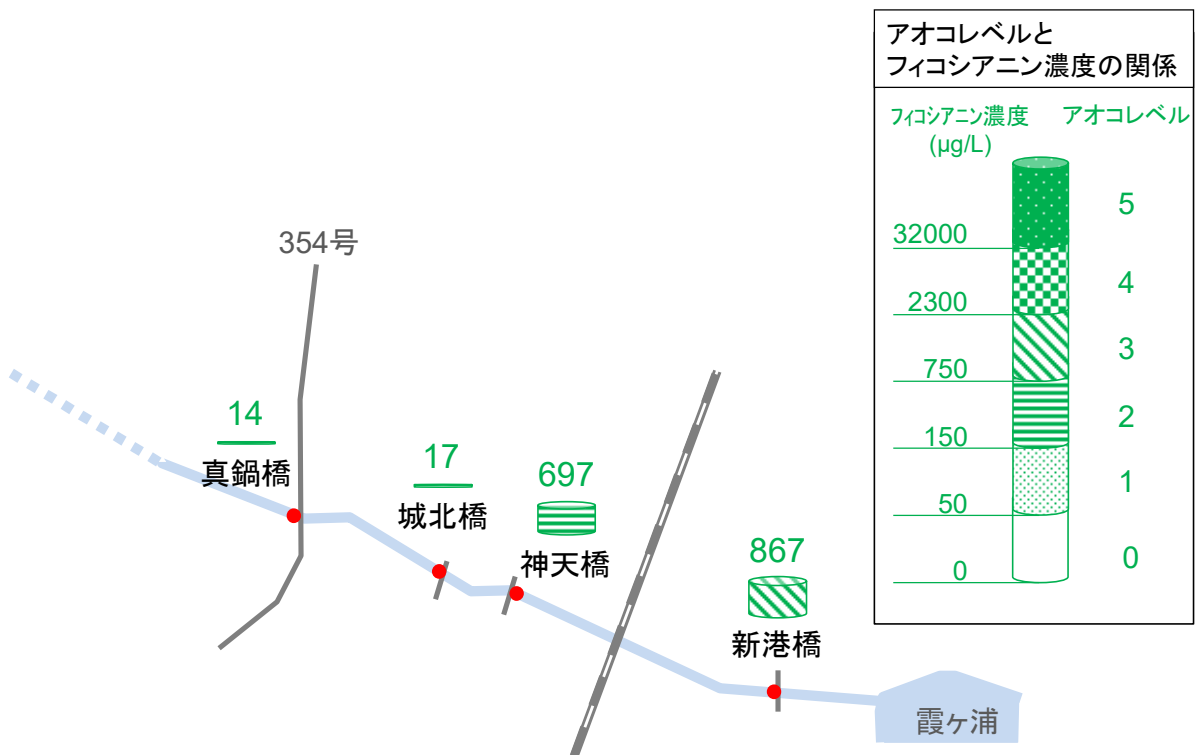


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

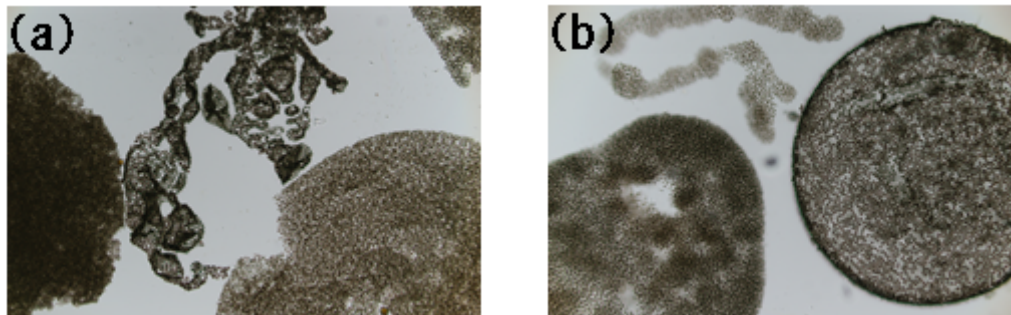
アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら，2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

## 2 アオコを形成している植物プランクトン

- 神天橋 (アオコあり) : ミクロキスティスが見られ(a)、群体を形成していた。
- 新港橋 (アオコあり) : ミクロキスティスが見られ(b)、群体を形成していた。



※(a) 及び (b) とともに一粒一粒がミクロキスティスの細胞

● 調査結果の詳細

表 調査結果

|               | 新 川   |       |       |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|
|               | 真鍋橋   | 城北橋   | 神天橋   | 新港橋   |
| 採水時刻          | 8月14日 | 8月14日 | 8月14日 | 8月14日 |
|               | 11:10 | 11:20 | 11:35 | 11:50 |
| 水温(°C)        | 31.5  | 31.5  | 32.0  | 33.0  |
| pH            | 8.3   | 8.1   | 8.8   | 9.8   |
| EC            | 33    | 30    | 30    | 35    |
| 透視度(cm)       | 37    | 34    | 15    | 15    |
| フィコシアニン(μg/L) | 14    | 17    | 697   | 867   |
| クロロフィルa(μg/L) | 30    | 44    | 361   | 350   |
| TN(mg/L)      | 0.72  | 0.74  | 2.58  | 2.58  |
| TP(mg/L)      | 0.11  | 0.11  | 0.24  | 0.29  |

【アオコレベル】

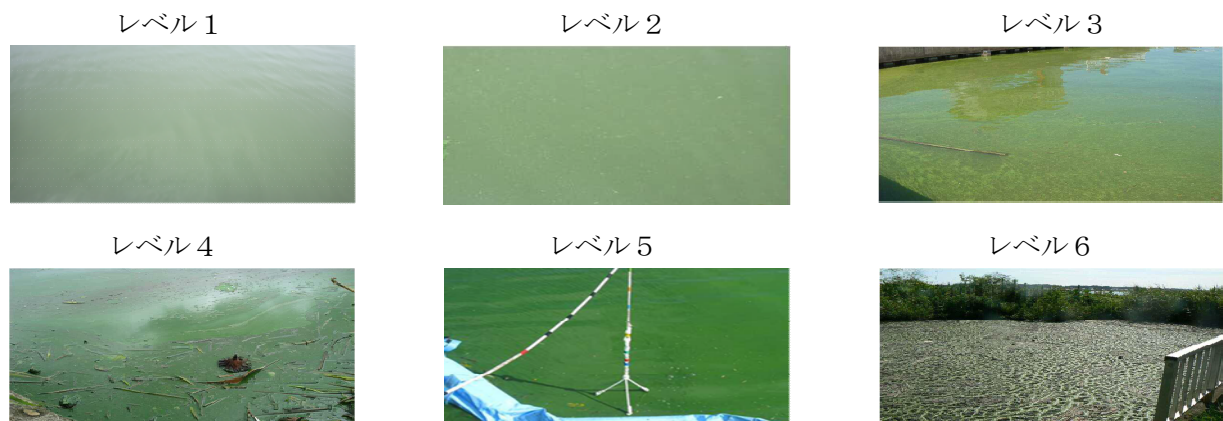


図2 アオコレベル